



進路通信

第4号

岩手県立宮古恵風支援学校

進路部

発行 令和7年12月19日

(年間5回発行)

●高等部 後期現場・校内実習 9/29(月)～10/17(金)

前期実習と同様に、3週間にわたりて1年生の校内実習、2・3年生の現場実習が行われました。1年生はA班とB班に分かれて清掃作業やリサイクル製品づくりに取り組み、自己の適性に気付くことができました。2年生は前期実習とは異なる作業内容に挑戦し、新たな目標をもつことができました。3年生は進路選択に向けて、卒業後の生活を具体的にイメージしながら働くことができました。

一般就労グループ

実習先：牛角、ウッティ川井、ハートランド宮古、株式会社中村電子、岩手アライ株式会社、特別養護老人ホーム平安荘、株式会社エフビー

それぞれが自分のもつ強みを生かして作業に取り組みました。新しい作業内容に挑戦し、日数を重ねるごとに慣れて頼もしく働く姿や、社会人としての言葉遣いや姿勢を意識してコミュニケーションをとる姿がみられました。前期と後期の実習を経て、進路実現への意識をさらに深めることができました。

福祉的就労グループ

実習先：宮古アビリティセンター、アトリエSUN、SELPわかたけ、あおば工房、みやこワークステーション、いづみの里、ジョブ・パートナー山田、鳥もと

宮古圏域内のA・B型事業所に分かれて取り組みました。日頃の作業学習で学んでいる「報告・連絡・相談」を社会に出て実践することの大切さに改めて気付くことができました。また、働き続けるためには、休憩時の気分転換やリフレッシュの仕方、休日の過ごし方も重要であることが分かりました。

介護サービス利用グループ

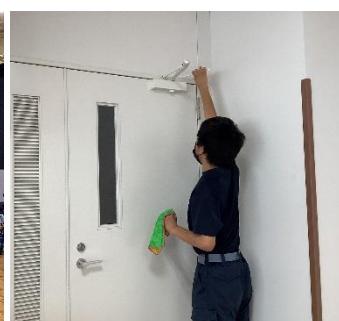
実習先：結人、はまなす、そら

宮古圏域内の3か所の生活介護事業所に分かれて取り組みました。学校で行っている作業内容を、そのまま施設でも実施することができました。徐々に自分が過ごす場に馴染み、自分のペースで作業に取り組んだり、余暇活動を楽しんだりするなど、他の利用者の方々と一緒に過ごすことができました。

1年生 校内実習

作業内容：校舎内外の清掃、わかたけ学園の清掃、リサイクル作業、紙工製品製作

前期実習に引き続き、校舎内外やわかたけ学園の清掃、ペットボトルのリサイクル作業を行いました。前期での経験が自信につながり、それぞれが自分の役割に責任をもって取り組むことができました。その他にも、農耕作業やだるま制作・販売などを行い、自分の得意や不得意に気付くきっかけとなる有意義な実習でした。



●中学部 後期校内実習 10/6(月)～10/17(金)

中学部では年間2回、校内実習を行っています。今回は祝日があり、9日間の実習でした。「まごころをこめて、製品をたくさん作るぞ！」を班目標として掲げ、全員が出勤から退勤まで時間いっぱい作業に取り組むことができました。終了後の報告会では、それぞれの成果や目標の達成について発表し、お互いを称え合いました。

↓実習結団式では個々の目標と、班の目標を改めて確認し、全員でモチベーションを高めました。



↓1年生は、先輩を手本にしながら、恵風祭で販売できるように一生懸命取り組みました。



↓2、3年生は、上級生として1年生の模範となり、協力して真剣に取り組みました。



↑今回の報告会では、それぞれの目標を振り返り、作った製品の数を報告しました。また、「お給料をもらって働く」ということが、より身近に感じられるようになりました。

●しごとメッセ in 宮古

11月20日(木)に宮古市民総合体育館において「しごとメッセ in 宮古」が開催され、高等部1・2年生の一般就労を希望する生徒が参加しました。宮古地域雇用対策協議会と宮古公共職業安定所が主催で、管内事業所に対する理解と関心を高め、早期の職業意識の啓発を図る目的で行われました。参加した生徒は、実習で培った働く意識や態度などについて再確認するとともに、一般企業での作業内容や求められる人材について知ることができました。

